

		チェック項目	はい (%)	どちらとも いえない (%)	いいえ (%)	改善目標・工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	75	12.5	12.5	<ul style="list-style-type: none"> ● 個室が一つしかなく、周囲に気を取られやすい児童にとって適切な環境とは言いづらい。(どうしても費用の関係からむずかしいとは思いますが) ● 適切なスペースがあるので、過敏な児童同士を遠ざけることができる。児童の活動場所の工夫している。 ● 聴覚過敏の児童は個室で対応したりと工夫している ● トイレの清掃、便座をはずして拭き掃除。ドアの拭き掃除。 ● 個室や小さな机などを利用して児童の特性や相性などに配慮しながら療育を行っている。 ● 現在、吉島では待合スペースが確保できるようにレイアウトを考えています。
	②	職員の配置数は適切であるか	88.9	11.1		<ul style="list-style-type: none"> ● 誰かが休んでもフォローしやすい体制ができています ● 少し職員が余るときがある。新人職員は1日中利用者を見ない時間が週に何度かあるので、キャンセル待ちの利用者などの案内に回しているが、利用者側の定員数もあるので、難しい時もある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	66.7	33.3		<ul style="list-style-type: none"> ● エレベーター、車いす用の机、入力デバイス等あるが、身障者用のトイレがない ● 車いすでの入室、トイレ利用出来ている。 ● 車いすの机を入り口に配置するなどをしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	44.4	33.3	22.2	<ul style="list-style-type: none"> ● PDCA サイクルを意識して働いている少ない ● 特になし。 ● ミーティングの場がその機能を有しているという認識でいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	66.7	22.2	11.1	<ul style="list-style-type: none"> ● できる限りのことを意識して慎重を期している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	66.7	22.2	11.1	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	44.4	33.3	22.2	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50		50	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修の話がまわり、業務時間内の出席も可能だが、自由参加であり、出席も自費、休日の場合の振り替えはない。意欲的な職員のみが学習を続ける構造となるため、全員参加でなければ全体としてのレベルを上げることは難しい

					いと考えられる ● 伝達研修など研修の機会が増えた	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	77.8	11.1	11.1	● 個別支援計画の改正がほとんど形骸化している。本人のニーズを聞き取っていない場合も多い。モニタリング前に職員側での十分な協議が行われていない。介入法が具体的でなく、具体的であった場合にも効果が保証されていない、経験的な介入法が目立つ。 ● モニタリングでニーズを把握できるよう工夫している ● 極力現場での状況と（公開可能な範囲に
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	55.6	22.2	22.2	● これまで得ていた情報などをこれまでの経験を踏まえながら思考しているため標準化されたものはない
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	44.4	44.4	11.1	● 表立ったものではないが話をしているのは聞く ● 複数の職員で見ると場合には、日々の活動の情報共有、個別支援計画の作成や修正を協力して行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	88.9		11.1	● 当デイに限っては、活動プログラムがある程度固定化しても問題がないように思える ● 一人ひとりの興味関心に合わせた活動を提供している ● 課題のできを確認し、見直しを行っている。 ● 利用者の年齢に合わせて提示できそうなことなどを提案している。（受け入れられるかは別にして） ● だいたいモニタリングのタイミングで利用者本人の意向を定期的に聞きながら、活動内容を考えている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	55.6	11.1	33.3	● 当デイに限っては、利用する日に応じて内容を変える必要性はないように思える ● 長期休暇で利用が増えたりした場合など、内容を見直したりしている。 ● 利用者本人が調子が良いか様子を見ながらその都度臨機応変に量など変更することもある。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	44.4	33.3	22.2	● 当デイでは集団活動がなく、個人個人にきめ細やかな支援を提供することが理念となっているため、集団活動がないことに問題はないと思われる ● 一方で、集団での活動は、ソーシャルスキルの獲得に役立つため、当デイで導入することを検討することも良いと個人的に思う ● 別室対応などを行っている。 ● 集団の中での個人、特に言葉遣いなどの問題に焦点が当たることが多い。 ● 個別活動が多い。集団活動ではないが、自由時間に複数人で関わることもある。	

	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	55.6	44.4		<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的にマンツーマンでの対応となるため打ち合わせの必要がないが、数人でかかわる場合には基本的に引継ぎが行われている ● ミーティングの場がその場になっている。多くは毎週のことなので規定の方式に従う
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	22.2	55.6	22.2	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数職員でかかわる児童の場合は、職員によるが終了後の打ち合わせをすることもある ● その日にできない時は、職員皆が集まる場で振り返りをしている ● 現場ミーティングを毎週行ったりと共有できる時間を設けている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	88.9		11.1	<ul style="list-style-type: none"> ● 日々の記録がそのまま報告メールとなる仕様であり、報告メールに記載しない利用者一人ひとりの記録を一括で保存する場所がない。職員個人での記録に頼られ、全体としての共有もしていない。 ● 職員皆が集まる場を設け、検証・改善をしている ● 会話で特徴的なものがあれば変化を感じるものがあれば記入するように心がけている。特に肯定的な言葉については記入するように心がけている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	88.9	11.1		<ul style="list-style-type: none"> ● モニタリングを定期的実施できているが、十分に内容の見直しができているとはいいがたいことがある。 ● 支援の内容を確認し、短期目標の見直しを行っている。 ● 家庭とデイと学校と同じような問題が起きてることが多く、変化の中で問題が再認識されることがありその場合修正している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	55.6	33.3	11.1	
関係機関や保護	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100			<ul style="list-style-type: none"> ● 何度か出席したことがあります。子供の現状を説明しました。担当者が行っている
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	22.2	44.4	33.3	<ul style="list-style-type: none"> ● 保護者との情報共有、連絡調整を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	22.2	44.4	33.3	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在必要な利用者の該当がない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	11.1	33.3	55.6	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在必要な利用者の該当がない

者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	11.1	55.6	33.3	● そういった問い合わせは、聞いていない。
	㉑	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	33.3	33.3	33.3	● そういった事例はないです。
	㉒	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	11.1	11.1	77.8	● 障害のない子どもと活動する機会はない。
	㉓	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	55.6	11.1	33.3	
	㉔	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	77.8	22.2		<ul style="list-style-type: none"> ● メールによる報告を毎回行っているが、積極的にメールをしない保護者の場合、双方向的なやり取りができるのはモニタリングに限られる ● メールを活用し様子を伝えている ● 状況や課題については、毎回報告している。 ● お迎えに来る保護者さんには共有しているが本人のいる前なので悩みもの
	㉕	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	22.2	33.3	44.4	● 個人的な意見であるが、非常にペアレントトレーニングが役立つようなケースが多いため、ぜひ導入したい
保護者への説明責任等	㉖	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	77.8	22.2		● 個別支援計画にそって支援しており、説明している。
	㉗	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	55.6	33.3	11.1	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校や家庭での様子を聞き、こちらでの支援をどうしていくかを話し合っている。 ● 以前受けたが適切なものは出せなかった。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33.3		66.7	
	㉙	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88.9		11.1	● 利用者間のクレームがあり担当の配置換えを行ったのが1件
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100			
	㉛	個人情報に十分注意しているか	100			<ul style="list-style-type: none"> ● 封筒詰め間違いが無いよう注意している。 ● 極力子供たちの前では利用表を出さないようにしている。
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	77.8	22.2		● 児童の欲求などを注意して促している。
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	33.3		66.7	

非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	55.6	22.2	22.2	
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	77.8	22.2		
	㉒	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	88.9	11.1		<ul style="list-style-type: none"> ● 週末ミーティングでやったような気がします。 ● 受けている。
	㉓	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	66.7	11.1	22.2	
	㉔	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		44.4	55.6	<ul style="list-style-type: none"> ● 飲食の提供はしていない
	㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	77.8	11.1	11.1	<ul style="list-style-type: none"> ● 報告は週末ミーティングでされているが、事例集は良く知りません。 ● 以前保護者のアルコール関連事例で出した。